

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

道の駅を核とした「にぎわいと活力あふれる美しいまちおおとう」プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

福岡県大任町

3 地域再生計画の区域

福岡県大任町の全域

4 地域再生計画の目標

4－1 地方創生の実現における構造的な課題

「道の駅おおとう桜街道」は、本町における産業・観光の中核的役割を担っているところであるが、その一方で、道の駅に併設する物産館施設で販売する野菜や果物、生鮮食品等は、町外産のものが多く、訴求の面で課題がある。また、「おおとう桜マンゴー」を一大産地として販売販路の拡大を行うためには、生産者の数が足りず、生産量が追い付いていない。また、町営の観光農園施設以外でも生産ができるよう、地域全体の農業振興や就農支援に繋げていくことが必要である。これらに併せ、花いっぱいの美しいまちづくりの展開において欠かせない花の苗も、現在町外の業者から購入している状況であるため、「おおとう産」の独自性のある花の苗づくりを行うには、技術の習得や人員不足、生産に係る環境整備等が課題である。また、マンゴーにおいてはまだまだ知名度が低いため、上述により生産量を上げ、県外へPRを促進し、さらなるブランド化を図ることが課題である。

4－2 地方創生として目指す将来像

【概要】

本町は、福岡県北東部に位置する総面積14.26km²、人口5千人強の町である。町中央部に平成22年10月にオープンした「道の駅おおとう桜街道」は、物産館施設・温泉施設・親子ふれあい広場を兼ね備えており、令和元年には来

場者が累計1,100万人を超えるなど、本町における産業・観光・交流の中核的役割を担っている。また、本町は第4次大任町総合計画（平成23年3月策定／現行）の将来像を「美しいまちおおとうー花いっぱいの里に開く 交流・安心・協働のまちー」とし、道の駅に隣接した町営の花公園には、季節に応じた花を植え、福岡・北九州都市圏等から多くの観光客が訪れる場所となっている。また、ボランティア活動として、町内の各行政区や事業所単位（17団体／令和元年度実績）で町内各所の花壇等に花植えを行い、さらには、毎年5月と11月に、700人規模の町民のボランティアによる花植え作業を行うなど、町を挙げて、花いっぱいの美しいまちづくりに力を入れているところである。さらには、平成24年度に整備を行った町営の観光農園施設（温室ハウス6棟・加工所）において、マンゴーの栽培を開始し、現在、町の特産品「おおとう桜マンゴー」と名付け、ブランド化を図っているところである。地方創生として目指す町の将来像は、前述の花いっぱいの美しいまちづくりの展開等を通じて、子どもたちの郷土愛を醸成するとともに、農業に対する興味や関心を高め、若い世代の定住化を促進するとともに、地域商社である道の駅を通じて本町の特産品の販売を行い、さらには福岡県内の道の駅等との連携を行うことで、お互いの地域の特産品や観光をアピールするなど、地域経済の活性化を図るとともに、交流人口をさらに増やし、「にぎわいと活力あふれる美しいまちおおとう」を実現することである。

【数値目標】※ 欄は適宜加除してください。

K P I	事業開始前 (現時点)	2021年度増加分 1 年目	2022年度増加分 2 年目
マンゴーの売り上げ (%)	0	1 0	4 0
人材育成数及び移住者数 (人)	0	1	2
就農者数 (人)	0	0	1

2023年度増加分 3年目	K P I 増加分 の累計
50	100
4	7
2	3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2の③のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ 地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

2に同じ。

② 事業の名称

道の駅を核とした「にぎわいと活力あふれる美しいまちおおとう」プロジェクト

③ 事業の内容

町の活性化に欠かせない花の苗と、町の特産品であるマンゴーの栽培育成において、ドローンにより育成状況を遠隔で把握し、栽培を管理することを目指し、ITリテラシーに長けた専門人材の任用と、ドローン機器の調達を行い、併せて栽培育成に係る人材育成を行う。また、本町は教育分野にも力を入れており、小中学校の児童生徒一人一台タブレット端末整備に併せて、栽培育成状況をタブレット端末を活用し、授業に生かすなどの教育プログラムの取り組みも併せて行う。また、マンゴーについては、上述により生産量を上げ、福岡県内の道の駅との連携販売や、ふるさと納税の返礼品として全国にアピールを行うなど、「おおとう桜マンゴー」のさらなるブランド化を図るため、広報活動やイベント等を行う。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

独自性のある「おおとう産」の花の苗やマンゴーの安定した栽培が可能となり、地域商社である株式会社おおとう桜街道を事業の実施主体として、「おおとう桜マンゴー」の流通販路の拡大や、ふるさと納税の返礼品としてPRを行い、さらには町の様々なイベントを通して、地域の稼ぐ力が構築される。

【官民協働】

大任町と地域商社である株式会社おおとう桜街道（道の駅おおとう桜街道）との協働により、町はドローンを使った花いっぱいの美しいまちづくりに欠かせない花の苗の栽培育成と、町の特産品であるマンゴーの栽培を行い、生産量を確保し、人手をかけない最適な栽培を可能とする。収穫した花の苗については、さらなる花いっぱいの美しいまちづくりを行い、マンゴーについては、販路拡大に向けたブランディングやPR戦略を行い、地域商社である株式会社おおとう桜街道において、各種イベントや販売販路の拡大を行い、地域産業の発展を目指す。

【地域間連携】

福岡県内の道の駅において、特に田川地区近隣の市町村（添田町・香春町・糸田町）には3つの道の駅があり、お互いの地域の特産品や観光をアピールするなど、広報PR活動等を行い、地域経済の活性化を図る。

【政策間連携】

花いっぱいの美しいまちづくりに欠かせない花の苗の栽培、及び本町の特産品であるマンゴーの栽培育成をドローンを活用し行うことで、ITと農業の融合により、新しい農業生産モデル構築を、児童生徒一人一台タブレット端末を活用し、授業に生かすなど、教育プログラムの取組みも行うことで、子どもたちや農業未経験者の農業に対する興味や意欲が向上し、もって農業の担い手の育成を図る。また、ITリテラシーに長けた外部からの専門人材の任用と、栽培育成に係る人材育成を行い、併せて移住定住の促進を図る。

⑤ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4-2の【数値目標】に同じ。

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

大任町まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議において、毎年 9 月頃に検証を行う。

【外部組織の参画者】

- (1) 大任町役場 副町長（官公庁）
- (2) 町民代表（農林、商工および観光の関係者）
- (3) 大任町商工会 女性部（農林、商工および観光の関係者）
- (4) 道の駅 支配人（農林、商工および観光の関係者）
- (5) 田川農業協同組合 大任支所長（金融の関係者）
- (6) 大任町立今任小学校校長（教育）
- (7) 大任町立大任中学校教頭（教育）

【検証結果の公表の方法】

ホームページで公表

⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・ 法第 5 条第 4 項第 1 号イに関する事業【A3007】

総事業費 35,000 千円

⑧ 事業実施期間

2021年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで

⑨ その他必要な事項

特になし。

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし。

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし。

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2024 年 3 月 31 日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7－1 目標の達成状況に係る評価の手法

5－2の⑥の【検証方法】及び【外部組織の参画者】に同じ。

7－2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

4－2に掲げる目標について、7－1に掲げる評価の手法により行う。

7－3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

5－2の⑥の【検証結果の公表の方法】に同じ。